

2020 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	えぬびーおーほうじん ちゃいるどらいんおかやま	
団体名	NPO 法人チャイルドラインおかやま	
代表者名	矢野千重子	
連絡先	住所	岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4F
	TEL	086-956-3700(赤磐子ども NPO センター内)
	E-mail	clokayama@mx3.tiki.ne.jp
	URL	http://clokayama.starfree.jp
設立年（西暦）	2017 年（活動自体は 2001 年より）	
助成活動名	オンライン相談、チャットでつながるチャイルドライン	
助成額	450,000 円	
活動内容	目的	<p>18 年間電話をツールとして子どもの声を聴く活動を続けてきましたが、近年の情報機器の変化とともに、子どもたちの電話へのアクセス数が減少傾向にあります。そこで昨年子どもたちが利用しやすい環境を作っていくために、オンライン相談の受け手研修を行い、2019 年 8 月より月 1 回オンライン相談で子どもの声を聴く活動をはじめています。家に電話がない子、周りに聞かれずに相談したい子、話すのが苦手な子もつながることができます。チャイルドラインの他の実施団体では海外からもアクセスがあったと聞いています。</p> <p>ただオンライン相談の受け手になるためには、電話での受け手活動時間が 200 時間以上という内部ルールも設けているため、その研修を毎年実施する必要があります。また既存の受け手の継続的な研修も必要です。</p> <p>オンライン相談の受け手を増やし開設日を広げて、一人でも多くの子どもたちの声にこたえていくことを目的としています。</p>
	内容	<p>○オンライン相談チャット受け手養成講座 8 月 1・2 日 参加 28 人 講師：上野和子（支援センター理事）、各種ロールプレイ、ワークショップ他</p> <p>○オンライン相談チャット受け手継続研修 2 月 28 日 参加 19 人 事例研修、パソコンを使ったロールプレイ</p> <p>○オンラインチャット実施 4 月～3 月 全 19 日 16:00～21:00 参加のべ 96 人 8 月までは 1 回線、以降は 2 回線に対応（一部受け手都合で 1 回線もあり）</p> <p>○電話も含めた受け手・支え手全体研修 7 月 12 日 参加 28 人 講師：石倉尚（弁護士）、テーマ「子どもの権利条約」 講義（児童相談所での活動経験について）とワークショップ</p> <p>○電話の受け手グループ研修 9 月 6・18 日、10 月 4・25・30 日、11 月 13 日 参加各回 6～7 人 のべ 38 人 講師：本会スーパーバイザー テーマ：「子どもの中心感情をつかむ」 内容：オープンカウンセリング、ロールプレイ</p>
	成果	<p>オンラインに関する講座を実施することにより、オンラインに関わる受け手を 4 名から 11 名に増やすことができた。その結果 2020 年 8 月までは月 1 回 1 回線だったオンラインの実施を月 2 回（第 1・4 金曜日）の各 2 回線以上での実施が可能になった。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため、支援センターが行う《研修担当者のための研修》は中止になったが、オンライン Zoom での運営システムや実施に於いての意見交換を行うことができた。</p> <p>電話も含めた全体研修・受け手グループ研修を、コロナ禍のため時期を延期して行った。チャイルドラインの理念は「子どもの権利条約」にもとづいており、子どもが主役で、受け手の役割は子どもの気持ちを聴いて支えることであるとあらためて確認できた。受け手グループ研修では、講師によるオープンカウンセリングを聞いて、カウンセリングの醍醐味を感じ、多くの気づきがあっ</p>

	<p>たと感想が寄せられた。その後、自分が見つけた努力目標を胸に子どもの話を聴いており、スキルアップへの動機付けとなっている。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>電話の受け手も含め、まだまだこの活動への参加者（子どもの声を聴く受け手）が少ないので増やす必要がある。そのための新たな受け手養成講座を再開することと合わせて、オンラインチャットの受け手研修を行うことで、実施回数や実施回線数を増やしたいと思います。同時に、聴く力のスキルアップをはかり、子どもに信頼される電話・オンラインを目指して、学びと実践を続けたいと思います。</p>
<p>写真の提出</p>	